



衣料や雑貨へのプリント転写業務の立ち上げ

本業の繊維加工業で培った刺繍・縫製などの基本技術を活用してプリント転写業務を立ち上げた。具体的には、ポリエステル製の生地または製品への転写、塩化ビニール・ターポリンなどへのプリント、カッティング加工を行っている。

業況等の動向について

本業の動向について

昭和45年の創業以来、繊維加工業を主要業務として手掛け、現在は腰裏ベルト・テープ・バイヤス等の服飾品製造・プリント加工を主力業務としている。

既往実績は、固定した顧客を有し販路を確保、増減も少なく、安定した受注を受けており、業績面は比較的安定して推移している。

異業種参入事業の概要

平成17年2月頃に、転写・プリント部門を立ち上げ、衣料や雑貨へのプリント業務を開始している。

プリント部門は5年目を迎えているが、売上高は毎年15～20%程度の伸長をみせている。

現在の参入事業の業容は、売上高300,00千円弱、構成比率は50.0%となっている。

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

プリント加工事業は、事業開始の3年ほど前から自分が手掛けたい事業として構想を暖めていたもの。時期を見計らい実現させた。

マーケティングについて

同業他社の動向はインターネットなどで調べた程度だが、それは現在も続けている。

参入に際しての投資について

参入時の広告費やプリント機械・コンピューター購入などに1,000万円を掛け整えた。

参入して最も成果のあがったこと

若い社員が増え雰囲気が変わったことや、プリント事業の売上高が上乘せされたこと。

また、お客様と直接繋がる仕事なので臨場感があり、やりがいも感じやすいこと。

参入して最も困難だったこと

若い社員を採用して社員総数が増えたのは良いことかもしれないが、それによる弊害も出てきたこと。その弊害により、代表者自身の仕事量が増えてしまったこと。

参入に際して活用した自社の技術ノウハウについて

刺繍・縫製などの基本技術を活用した。物づくりの感覚には、本業の仕事で培った基本技術が活かされている。

今後の展望・見通し

取り巻く環境は厳しいが、明るく前向きに仕事に取り組むことが重要だと考えている。

プリント部門を立ち上げ、業務範囲が急拡大したため現在は少々苦しいが、展開速度を若干落とし運営していくことにより個々の業務を順調に処理できる環境を作り出せると考える。

メリット・デメリット

自分が好きな事業をしているので、楽しみながら仕事ができる点がメリットといえる。

デメリットとしては、経験がない事に取り組むので必要以上に時間を要することも多いことがあげられる。

異業種参入時のアドバイス

本業が堅調か不調かにもよるが、余裕があるときに他の事業を始める方がよい。特に、資金面はシビアに計画を練った上で行うことが重要である。

行政の支援について

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

企業側が本当に資金の必要なときに融資を実行してもらえると非常に助かる。

会社概要

設立:1970年1月

資本金:1,000万円

従業員数:40名

URL:<http://www.hayakawaseni.co.jp/>